第1回目：意識改革

1.1 何故、今イノベーションが必要なのか イノベーションを牽引するリーダーとは。※ディスカッション
・日本社会と企業の大きな変革期・失われた30年を取り戻す
・プロジェクトが目的とすることは何なのか
・イノベーションは課題解決に必要なアウトプット

1.2 真のリーダーがいると組織はどうなるか。 ビジョンを明確にする
・個人の能力を最大に生かす
・組織の力を最大に発揮できる
・プロジェクトを推進するマネジメントとリーダーシップ
・イノベーションが生まれる組織が出来上がる

1.3 プロジェクトを推進する仕組みとプロセス イノベーション・テーマ創出のプロセス
・最悪条件から大きな展開を生み出すシナリオ作成
・具体的な実施事項と仮説検証
・コンセプトとチェックポイント
・差異化と競争力を担保する知財戦略
・シナリオプランニングと戦略オプション。※グループワーク

第2回目：戦略立案

2.1 経営・研究開発・知財の三位一体戦略 トップダウンとボトムアップからビジョンを明確にする
・企業の競争戦略と持続的成長の本質を理解し実践
・企業活動による社会貢献と利益創出の両立が重要
・ビジョンを達成しながら持続的成長と発展を続ける

2.2 自社のコアコンピタンスと社会的未来要請
・自社のコアコンピタンスを明確にするポートフォリオ分析
・社会課題を分析しニーズと技術的未来要請を理解する
・社会課題を分析する本質的な方法の説明 2-3)で実践
・コアコンピタンスを展開し、未来コアコンピタンスを創出する
・社会課題解決と産学連携によるイノベーション創出

2.3 技術的未来要請の分析による新価値創造 ※グループワーク
・デルファイ調査と、学術論文調査から分析する手法を伝授

第3回目：リーダーシップ

3.1 既存事業発展と未来新事業創出マネジメントの並行戦略
・既存も新規も新サイエンスを付加し相乗させ差異化を図る
・産学連携サイエンスからテクノロジー移行でイノベーション創出
・研究開発は最先端のサイエンスにマーケティングの原点がある

3.2 既存事業の発展と新規事業創出の両利きの経営
・２種類のイノベーションを並行して生み出す
・マネジメントが異なる二つのイノベーション
・事業の選択と集中を常に進めながらイノベーション創出

3.3 各階層においてプロフェッショナル人財のリーダーシップ
・プロフェショナル人材とは
・リーダーシップとマネジメントの違い ※ディスカッション
・リーダーの３つの資質
・リーダー人材の教育が必須、知識な無い知らないことの恐ろしさ
・リーダーチェックリストの確認
・属人的な基本資質
・イノベーションを牽引できるリーダーシップ
・イノベーションをマネジメントする能力
3.4 組織開発と風土改革
・イノベーションが生まれる組織と人材を創る

第4回目：開発推進①

4.1 特許戦略がなぜ必要か。
・競争力・差異化力の源泉には何が必要か
・コア技術の差異化力・排他力を担保する特許
・イノベーションと特許戦略が生み出す収益性と成長発展力
・事業競争力と持続的成長に貢献する特許とは
・特許基本戦略と戦術
・事業競争力・持続的成長に貢献する特許とは ※グループワーク

4.2 事業が保有し内在するコア技術と知財管理
・自社コア技術の差異化力を担保する特許から分析する
・事業の選択と集中からリソース抽出し再配分へ
・事業と技術、事業判断（継続）ポートフォリオ
・産学連携と特許出願の連動
・最先端のサイエンスにアクセスし技術移行するプロセスが重要
・サイエンスを既存事業に移植し差異化力の源泉にする
・最先端サイエンス獲得が新規事業のコア技術の源泉となる

第5回目：開発推進②

5.1 イノベーション・テーマ創出のプロセス
・ 「研究」と「開発」フェーズのマネジメントの違い
・イノベーションの本質を理解する
・社会課題の解決と自社収益性に貢献するイノベーションテーマ
・横並びで無い差異化されたイノベーションが企業の競争力となる
・イノベーションは醜いアヒルの子
・近年のノーベル賞における想定外のイノベーション
・カオスと秩序のバランスマネジメントとステージゲート

5.2 沢山の選択肢を持ちながら事業化まで推進するプロセス
・ステージゲートのマネジメントは諸刃の剣、ポジティブな推進を
・ステージゲートは課題を明確にし推進することであり、管理が目的では無い
・真のアジャイル開発は最短でなく最適なマネジメントの実現
・シナリオプランニングによる最悪～最善までの仮説検証の実践
・自律的なマトリックス発想によるテーマ創出からはじまる
・自分達の枠を超えたサイエンスや技術の淵まで調査することが重要
・自社のコア技術を最大に生かし、最先端サイエンスや技術との融合
・既存事業の成長発展と収益性向上に貢献する
・将来必要となる新規事業の選択肢を確実に保有することができる

第6回目：特別講演

東京都墨田区で下請けからの脱却を果たし、イノベーション創出を続ける浜野氏による特別講演
「新しいものづくりの形を模索し続ける中小企業が語るイノベーション創出の最前線（仮）」

講師：㈱浜野製作所　代表取締役社長　浜野　慶一　氏